

附属池田高校3年連続5名以上合格

国私立高入試と公立高推薦入試が終了しました。難関の大阪教育大学附属池田高校には5名の生徒が受験し、見事5名全員合格しました。これで3年連続5名以上の合格者を輩出したこととなります。

附属池田高校受験の重要なポイントは、まず受験の意志を中3の1学期中には固め、2学期中旬までは学校の成績では5教科オール5、公開テストでは偏差値65以上をめざして行くことです。その後中3の11月頃から池附受験に特化した特進館独自の学習体制に突入していきます。

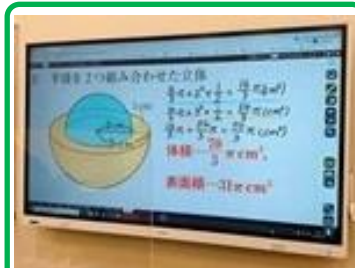
2月21日(日)に公立推薦の合格発表、3月12日(金)公立一般入試日、19日(金)合格発表とまだまだ高校入試は続きます。公立一般入試12日に向けて今は全力集中ですが、今年は学力向上に加えて、健康状態の維持が重要な課題となります。急な気温変化にも敏感であることが大切です。〔野垣勝彦〕

2月・3月のおもなスケジュール		
2/23	火	天皇誕生日【授業あり】
24	水	2020年度 授業終了
25~		公立入試直前ゼミ
3/4	水	2021年度 新年度開講
7	日	公立直前ゼミ 最終日 やる気UPコンサート
12	金	公立一般入試
13	土	新高1 やる気アップ激励会
14	日	新高1 保護者会 (13:00~14:30) 日曜自習室 SOS (12:00~18:00)
19	金	公立一般合格発表日
20	土	春分の日【授業あり】
21	日	日曜自習室 SOS (12:00~18:00)
24	水	3月度 度授業終了
25~		春期講習スタート

教科書を読む

「学校の先生、教科書読んでるだけで授業おもしろくないし、意味ない」という声をよく耳にします。ほんとうにそうでしょうか。教科書を読むという行為は一般に思われているほどやさしくない私は思っています。子どもたちや保護者の多くは「教科書レベル」という言葉を「誰でも解ける」くらいの感覚で使いますが、大きな間違いです。なぜなら、入試問題はすべて「教科書レベル」だからです。

それにもかかわらず、教科書以外の教材を使用した練習が必要になるのはなぜでしょうか。教科書を「きちんと」読んでいないからです。特に数学や理科において顕著ですが、きちんと教科書を読まずに問題集ばかりやるのは、灯台下暗しです。〔金子祐太〕



最新鋭 75 インチ4K 電子黒板を2教室に設置。これでライブ授業もオンライン授業もさらに明快でわかりやすくなります！

1月の“自習王”決定!

- ★中学生の部
中3 風間 翔大 **140.2 時間**
- ★高校生の部
高3 岡村あすか **172.2 時間**

小さな目標

もうすぐ新年度がスタートしますね。今年度の自分を振り返り、新年度の目標をたてましょう。小さな目標で構いません。例えば、「玄関の靴をそろえる」「床に落ちた髪の毛を拾う」「消しカスはきちんとゴミ箱へ捨てる」など。私は「毎日スクワットを30回する」という目標をたてています。達成できた日は、自分をほめちぎります。もちろん達成できない日もありますが、一歩下がってもまた二歩進めば良いのです。〔原田夏花〕

3月分
学費の振替

先月号の特進館通信でもご案内いたしました。今月振替分に、新年度教材費を合算してお振替させていただきました。詳細につきましては明細のご確認をお願いいたします。

コンビニ型でなく、デパート型へ

たとえば、牛乳は近くのコンビニかスーパーで買いますよね。では、スーツやバッグを買うときはどうでしょう？ たぶん、スーパーではなく、休日などに時間と交通費を費やして、都会の大きなデパートへ行って、じっくりと選びたい方が多いのではないのでしょうか？

一般に塾の商圈(通塾エリア)は、「半径2km」程度といえます。これは、自転車や徒歩で十分通える距離。ところが、特進館学院の塾生は、「半径25km」のエリアから通ってくれていて、自転車や徒歩は2割未満。本来なら、このエリアに10数か所の分教室があってもおかしくないのですが、ご承知の通り『1教室』です。

牛乳はコンビニで買うのに、スーツはデパートで買う理由は、多少遠くても「妥協せずに自分に一番合う良い商品を選びたい」からだと思えます。私たちは、そんな「こだわり」を持つみなさんを選んでいただけるような、『デパート型の進学塾』を目指しています。「遠くから時間をかけて通っても、それだけの価値がある」と言ってもらえるような存在となるため、これからも真摯に努力を続けていきたいと考えています。〔北村昌弘〕



特進館学院には、以下のエリアから精鋭たちが通っています。

代表北村の独り言

新型コロナウイルス抗原検査を2月からPCR検査へグレードUP!! 全職員に当面毎月検査実施。しかし、最近メディアのおおりの報道が酷い。布マスク効果薄報道でマスクを2枚に重ね、今度はワクチン危険説・変異種…。ウイルスの変異は常識。恐怖感があるのはやめて～!

編集後記

年度の変わり目が近づいてきました。昨年同様、今年もコロナの影響を受けて式典等は簡素化され、その区切りを盛大に祝ってあげることが難しい状況だと思えます。「式」というと、子どもたちは面倒くさいし、なくていいと感じるようです。それでも、卒業式や修了式というものがあるだけで、気持ちの上では区切りをつけやすいのかなと感じます。学年によって、子どもも親も区切りの感じ方は様々だと思えます。はたして我が子は何を感じるのか…、今年はゆっくり観察してみようと思えます。